やさしい街づくり！元気な長崎！

長崎市議会議員

いつわ清隆だより 第79号

令和４年１月　発行責任者：五輪　清隆　編集責任者：福田　剛　長崎市水の浦１の１　TEL861-6032

明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで良い新年を迎えられた事とお喜び申し上げますと共に皆様方には、ご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。

感染予防の再徹底を！

昨年も一昨年に続き、「新型コロナウイルス感染症」関連がテレビや新聞等で毎日のように報道された一年間でした。ワクチン接種や市民の皆さんの感染予防により秋頃には小康状態になり終息の兆しが見えていましたが、12月には新たな変異株「オミクロン株」の感染が世界に広がり日本でも感染者が確認されています。ワクチン接種を2回していても感染すると報道されていますので、感染を防ぐには一人ひとりが予防策の徹底をしなければなりません。

リニューアルされた「旧グラバー住宅」前にて（グラバー園内）

想定外の災害に要注意

昨年8月に大雨の災害で長崎県内でも尊い命が奪われ、長崎市では道路等の災害が213箇所発生するなど、毎年のように災害が続いていますので、長崎市民の皆さんへ避難を早めに呼びかけて安全の確保に努めています。

今年は昭和57年7月23日に発生した長崎大水害から40年になりますが集中豪雨により、死者・行方不明者299名の尊い命が奪われました。私は40年経過しても、あの時の光景は脳裏から忘れることはありません。改めて自然災害の怖さを継承しながら風化防止策をしなければなりません。

最重要課題への早期対応

長崎市が早急に取り組むべき最重要課題は、定住人口減少対策であり抜本的な対応策を行わなければなりません。解決しなければ　①労働力人口の減少による地域経済への影響　②少子化の進行による子育て・教育への影響　③高齢化の進行による医療・福祉への影響が予想されます。

更に、昨年のコロナ関連で財政収入の減収が予測されますので、市民サービスに影響しないように取り組まなければなりません。

今年も、長崎市の発展のため、市政の活性化を目指すと共に、常に市民の皆さんと同じ目線に立ち、生まれ育った長崎を多くの皆さんに住んでいて良かった、住みたいといわれるような、郷土長崎の発展に向けて全力で取り組んで行く所存でありますので、皆さま方の旧に倍するご支援・ご協力・ご指導を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

長崎市議会議員　五輪　清隆

活力ある住みよい長崎をめざして

令和4年度「政策要求」を行う

私が所属する長崎市議会市民クラブ（9名）は、令和3年10月5日に田上市長へ令和4年度予算編成に向けての政策要求書を提出しました。回答書は今年2月1日に受ける予定となっていますので後日報告いたします。

【主な重点課題（抜粋）】

◇安心して子どもを産める環境づくりと健全な子どもを育てる社会づくりの推進に努めるとともに、子育て世代を支援するために「子育て支援センター」未設置地区への設置を進めること。

◇長崎みなとメディカルセンターは、医療サービスの向上はもとより、安定した高度医療・周産期医療を提供できる病院として安定経営を構築すること。また、市民に対するサービスの向上にも努めること。

◇令和3年4月から実施された高齢者交通費助成（70歳以上）のICカード化については、利用者が使いやすいシステムに改善し、各地域センター及び各地区事務所にポイント還元機を設置すること。

◇**企業誘致で雇用確保、定住人口の維持**

将来を担う若年者の県外流出防止策の取り組みを強化推進するとともに、企業誘致についても県と連携を図り、正規雇用の拡大に向けて全力で取り組むこと。またU・I・Jターンに対する定住支援策を図ること。

◇**長崎駅周辺（尾上町～幸町）の整備**

新市庁舎・新たな文化施設・MICEを含めた長崎駅周辺整備・新幹線整備と民間で建設計画のスタジアム等大型事業の建設については、それぞれの関係先と連携のもと、完成後の交通体系など十分精査し万全を期すよう努めること。

長崎市「世界新三大夜景」に再認定

昨年11月19日に国内外の観光関係者が集う国際会議「世界夜景サミットin長崎」が出島メッセ長崎で開催され、全国の「夜景観光士」約6100人の審査投票で、1位がモナコ、2位が長崎市、3位が上海となりました。

長崎市とモナコは2012年のサミットに続く認定で上海は初選出となっています。長崎市の認定について「稲佐山スロープカーの運用開始などハード、ソフト両面で夜景観光推進に向けた継続的な取り組みが見られた」と説明がありました。

長崎開港フェスタ450開催

長崎にポルトガル船が入港した1571年に開港され、今年が開港450年となる事から11月20・21日に「長崎開港フェスタ450」として出島表門橋公園と国道34号線（万才町）の2会場で開催されました。

会場の国道34号線では（県庁跡地から長崎市立図書館）を歩行者天国として開放してステージ・展示場・飲食コーナーを設けて多くの市民の皆さんが参加されていました。また、出島表門橋公園では長崎くんちの「演し物」の来航船5隻が展示されました。「長崎くんち」がコロナウイルス感染症拡大の影響で2年続けて中止となっていることから記念写真を撮られていました。

いつわ清隆の主な役職

【議会】
- 総務委員会委員
- 議会運営委員会委員
- 長崎市議会核兵器廃絶議員連盟会長
- 長崎市議会大村湾横断浮橋架橋推進議員連盟副会長

【行政】
- 長崎市行政改革審議会委員

【地域】
- 女の都自治会会長
- 西浦上東部地区自治連合会副会長
- 女の都地区青少年育成協議会顧問
- 長崎市消防団第三分団後援会副会長
- 長崎市社会福祉協議会西浦上東部支部副支部長

【その他】
- 長崎市ボウリング協会会長
- 瓊浦高等学校評議員
- 国民民主党長崎県連副代表

ご相談はお気軽に！

長崎市女の都1丁目1444-13
自宅☎（844）9599
生活相談室☎（828）7422

ホームページアドレス　http://www.k-itsuwa.com/

令和3年11月議会

令和3年度一般会計補正予算 総額47億7800万円可決！

令和3年11月長崎市議会定例会は、11月24日(水)から12月10日(金)までの日程で開催されました。

今議会の一般会計補正予算では、新型コロナウイルス感染症に係るPCR検査費等が当初の見込みを上回ったことからの増額予算やコロナ関連で障害者自立支援給付費として介護給付金・訓練等給付金増額が上程され、総額47億7800万円55議案が可決されました。

議会提案の「核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書」は賛成多数で可決し関係先に要請しました。

補正予算の主な内容

◆市民活動推進費

コミュニティ助成事業費補助金 ……240万円

一般財団法人自治総合センターのコミュニティ事助成金を活用し、コミュニティ活動に必要な備品の整備に係る経費について助成を行うことで、地域コミュニティ活動の充実・強化を図るもの。

【対象団体(事業内容)】

・三ツ山町犬継自治会(コミュニティ活動用備品購入)

◆庁舎等施設整備事業費

…1,300万円

三和地域センター内既設管渠の破損箇所改修工事及び堆積物の清掃工事を行うこととしていたが、当初検討した工法では安全性の確保が困難であることから、工法を見直すことにより増額するもの。

◆定住促進費

ながさきウェルカム推進費

…2,055万円

補助対象世帯数が当初の見込みを上回ったため、増額するもの。

・移住支援補助金…900万円

・子育て世帯ウェルカム補助金

…1,155万円

◆障害者自立支援給付費

①介護給付費

…5,496万3千円

重度訪問介護において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定していた入院ができず自宅で過ごす時間が増加し、サービス利用時間が増加したことから、当初の見込みを上回る給付費について増額するもの。

②訓練等給付費

…3億2,850万8千円

就労継続支援において、新型コロナウイルス感染症対策として「在宅利用」が増加したことなどから、当初の見込みを上回る給付費について増額するもの。

③補装具給付費

…2,820万円

補装具購入費の助成において、用具の劣化に伴う買い替えが増加したことなどから、当初の見込みを上回る給付費について増額するもの。

◆障害児通所給付費

…1億6,062万5千円

児童発達支援、放課後等デイサービスにおいて、受け皿となる事業所の新設により定員数が増えたことなどから、当初の見込みを上回る給付費について増額するもの。

◆高齢者交通費助成費

…1,480万8千円

ICカードへの助成ポイントを電子マネーに交換するポイント交換機が設置されていない地区があるため、地域センターにポイント交換機を設置し、利用者の利便性の向上を図るもの。

・設置場所

地域センター(19か所)

◆高齢者施設福祉費

高齢者施設開設準備費補助金

…3,775万5千円

高齢者施設開設準備経費の一部を助成するもの。

【小規模多機能型居宅介護事業所】

・青山町(1施設)

令和4年12月開設予定

【認知症対応型共同生活介護事業所】

・四杖町(1施設)

令和4年9月開設予定

・界1丁目(1施設)

令和4年12月開設予定

◆あぐりの丘施設整備事業費

…1億3,060万円

全天候型子ども遊戯施設周辺の既存建物を、休憩や食事などができる多目的スペースにする改修及び外構工事を行うもの。

◆感染症対策費

新型コロナウイルス感染症対策費…2億7,159万円

新型コロナウイルス感染症に係るPCR検査費等が当初の見込みを上回ったことから、増額するもの。

・PCR検査費

…9,921万5千円

・入院医療費

…1億6,019万4千円

・機器購入費

(次世代シーケンサーシステム)

…1,218万1千円

今年1月より学校給食センター供用開始

■所在地　長崎市豊洋台2丁目
■敷地面積: 8,568.41㎡
■延床面積: 鉄骨造2階建て 4,604.04m²
■調理能力：8,000食(うち食物アレルギー対応食約150食)

長崎市の学校給食には次の3点の課題があります。

①調理機器の有無により学校間で献立に違いがあります。
②現在の給食室に食物アレルギー対応食の調理が可能な 専用室を設けることが困難です。
③多くの施設が老朽化しています。

課題解決のために学校給食施設の集約化を図り、学校給食センターを整備することで、次の3点の効果が得られます。

①充実した調理設備でバリエーションに富んだメニューを提供できます。
②食物アレルギー専用食調理室等を完備し、食物アレルギー対応が向上します。
③作業エリアごとに部屋を区分けし、衛生管理体制を向上させます。

学校給食センターの整備構想

学校給食衛生管理基準

「調理後2時間以内の給食に努めること」

南北に長い長崎市では**3か所の学校給食センターの整備が必要です。**

候補地の選定要件

①早期の整備が可能であること。
②十分な敷地面積があること。
③調理後2時間以内の給食が可能であること。

3つの要件を満たす候補地の中から次の場所を建設場所として選定しました。また、調理能力は各エリアの児童生徒数に応じて設定しています。

〈北部エリア〉豊洋台教育施設用地(調理能力 8,000食/日)
令和4年1月提供開始

〈中部エリア〉川平小学校跡地　(調理能力12,000食/日)
令和8年度提供開始予定

〈南部エリア〉香焼本村埋立地　(調理能力 4,000食/日)
令和7年度提供開始予定

合計 24,000食

核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書

本年1月に核兵器禁止条約が発効し、史上初めて核兵器が全面的に禁止されるべき対象であることを明確にする根本規範ができ、来年3月、同条約の第1回締約国会議がウィーンで開催される予定です。

このことは、「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」という被爆者の思いが国際社会を大きく動かしたものであり、「長崎を最後の被爆地に」と訴え続ける長崎市民、さらには人類の悲願である核兵器の禁止・廃絶を具体化する大いなる一歩となるものです。

一方、核保有国や核の傘の下にある国々から核兵器禁止条約は支持を得られていない状況にあり、今後、同条約に核保有国やその同盟国をはじめ多くの国が参加し包括的で実効性の高いものにしていくことが大きな課題となっています。

この課題を克服するため、今後、NPT再検討会議での核軍縮のための議論や、核兵器禁止条約の効果的な運用と発展に向けた議論に日本政府が積極的に加わっていくことが重要です。

そのような中、米欧の軍事同盟である北大西洋条約機(NATO)の加盟国の一部は締約国会議へのオブザーバー参加を表明しています。

唯一の戦争被爆国である我が国は、核兵器廃絶の実現に向け特別の役割と責任を負っています。

よって、国会及び政府におかれては、各国の対話や行動を粘り強く促すなど、核保有国と非核保有国の橋渡しに努め、核兵器のない世界の実現に向けた国際社会の取組をリードするよう、次の事項に取り組まれることを強く要望いたします。

記

1. 核兵器禁止条約を早期に署名・批准すること。まずは、締約国会議にオブザーバーとして参加すること。

2. その上で、核保有国を含む核兵器禁止条約に署名・批准していない国に対し、署名批准を要請すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

令和3年12月10日　長崎市議会